

自己評価結果公表シート（平成31年度）

学校法人育保学園 アエしくまのた

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・受容的な関わり方の学び
- ・保護者と共に作る保育園作り
- ・主体性を大事にした保育

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○受容的な関わり方 ・子どもとの関わりの中で、受容的な関わりを大切にし、自己肯定感を高められるようにする。	・年度初めの園内研修を通して、職員全体に子どもとの受容的な関わり大切さや重要性の周知徹底を図った。又、年度内の職員会議で豊中で作成した「教育・保育環境ガイドライン」を用いて、保育者の関わり方について振り返る機会を設けてきた。その成果もあり、子どもとの関わり方について職員一人ひとりが意識を高め、受容的な関わりが以前に比べて、できるようになった。引き続き、子どもへの受容的な関わりを大切にしていき、職員の入れ替わりがあった際には、再度職員間で受容的な関わり大切さを周知していきたい。
○保護者と共に作る保育園作り ・園内環境を見直すとともに保護者との交流の場として、園内環境の改善計画を立てて進めていく。	・園内環境を「教育・保育環境ガイドライン」を用いて、振り返りを行う事で、園庭に子どもが遊べる遊具等を作成する事になったが、保護者と共に作るには至らずだった。次年度は、反省を活かして保護者との交流を持つ機会を設け、園内の環境の改善を図っていきたい。
○主体性を大事にした保育 ・子どもの主体性を大事にし子どもの興味のある遊びの環境を豊富に用意し、自己選択して遊べるようにする。	・当法人の保育の理念として主体性を大事にした保育を行う事になっているが、外遊びの時間に子どもの思いは聞かずに、一斉に全員で外遊びを行ったり、給食も時間を設定して同じ時間に全員で食事したりしていたが、「主体性を大事にした保育」を見直す機会を設け、遊びの流れも子どもが選んで遊べるようにしてきた、まだ十分ではないが、次年度以降も同様に子どもの主体性を大事にした保育を行っていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・室内環境の見直しと改善を図る	・各クラスの室内環境に着目して振り返りを行い、各年齢に応じた、玩具や環境が設定されているかを見直しをしていきたい。
・保育者としての、質の向上に努める	・子どもとの関わり方や、保護者の方への育児支援、育児相談等の専門性を十分に発揮していきたい。その為には自己啓発の為に、外部の研修に積極的に参加したり、園内研修の充実を図ったりしていきたい。